

令和8年度 小・中学校「理科」専門研修B 実施要項

1 目的 小・中学校で行われる発展的な観察や実験に関する知識を得たり、実施に必要な手法を学んだりすることで、児童・生徒が目的意識をもって主体的に観察や実験を行うための授業を実践する指導力の育成を図る。

2 対象 小学校、中学校、義務教育学校、支援学校小・中学部の教員

募集人数 10名

3 日時等

| 回 | 日時 | 主題等 | 講師等 |
|---|------------------------|---|--------------------|
| 1 | 7月28日(火) 9:30~12:30 | 原子スペクトル分析で水銀を測る ～作る、いじるで楽しくわかる コールド・ ベイパー 原子吸光法～ [講義・実習] | 大阪工業大学 教授 渡辺 信久 |

※太字の時間帯は、通常時間帯と異なるので注意してください。

4 会場 大阪工業大学 大宮キャンパス (大阪市旭区大宮5丁目16番1号)

Osaka Metro 谷町線「千林大宮」駅下車、北北西へ約1,100m
Osaka Metro 谷町線・今里筋線「太子橋今市」駅下車、西へ約1,200m
大阪シティバス「中宮」バス停下車、北へ約350m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 研修会場に、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
 - (5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター小中学校教育推進室(06-6692-1882)に行うこと。

6 担当室 小中学校教育推進室

1 目的

小・中学校で行われる発展的な観察や実験に関する知識を得たり、実施に必要な手法を学んだりすることで、児童・生徒が目的意識をもって主体的に観察や実験を行うための授業を実践する指導力の育成を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第1期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修の主題とねらい等

| 回 | 主題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|---|---|---|----------|
| 1 | 原子スペクトル分析で水銀を測る ～作る、いじるで楽しくわかる クールド・ペーパー 原子吸光法～ | 水銀の性質と環境への影響、またスペクトル分析について実習を交えた講義により、理解を深め、児童・生徒が環境保全への関心を高める指導について見通しを持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 講義を通して、水銀の性質と環境への影響やスペクトル分析及びこれらに関わる科学史について学ぶ。 実習を通して、水銀の含有量をどのように測定できるかを学ぶ。 | |